

指定校番号	29012	学級活動	○	児童会		クラブ活動		学校行事		小学校用
-------	-------	------	---	-----	--	-------	--	------	--	------

平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野第四小学校	校長	吉田浩一	生徒指導主事	神信正彦
-----	-------------	----	------	--------	------

取組事例名	『いじめ撲滅キャンペーン』
取組のねらい	『キーワード いじめを許さない』
	いじめ未然防止の取組を行い、いじめのない学校をめざす。
身に付させたい資質・能力	
	思考力・判断力
取組の具体的内容	『キーワード 自分事として考える』
	本校のいじめ防止等に関わる基本方針を基に、担任が各学級でいじめの定義について伝えることで、児童と共に定義について再確認する。 次に、下崎教育長からのいじめに関する緊急メッセージを読み、メッセージに込められた思いを受け止める。 その後、一人一人がいじめをなくすためにできることを考え、自分の手形の中に宣言を書く。各学級で宣言を集め、パブリックスペース（廊下等）に掲示し、互いの宣言を知る。
取組の課題・創意工夫	『キーワード 児童発信』
	児童委員会が朝会で、全校児童にいじめ撲滅を呼び掛けることで取組をスタートする。 一人一人の考えを集約するのではなく、一人一人の考えを大切にすると共に宣言に責任をもつ。
取組の成果（効果）	『キーワード 他尊 未来』
	学校評価アンケート（児童 1 月回答 肯定的評価割合） 周りの人を助ける 83.8% 協力や話し合いが好き 84.1% 学級・学校をよくするために自分ができることがある 79.5%
今後の展開	『キーワード 振り返る』
	2 学期末に取り組んで終わりではなく、2 月末に学級毎に自分の宣言の振り返りを行い、以後の言動等について考えさせる。
他校へのアドバイス	『キーワード 一人一人の考えを大切にする』
	学級活動の話し合い活動では、〇年〇組の「いじめ撲滅宣言」という形で、一人一人の考えを出し合い集約することが多いと思うが、一人一人の考えを大切にするために集約はしない。

